

またまた
歴史・自然・おさんぽMAP

まきせんか。

道の駅みつまたを拠点にお散歩してみ

街道三侯館。

いにしへの文化や歴史を感じる三國

進春館の越後と江戸の行き来を支えた

際に通った街道であり、参勤交代や佐

現します。上杉謙信が関東に出兵する

残された歴史と文化が薫る街道が姿を

本郷に入ると、そこには史跡が数多く

スポンジも豊富です。国道17号線から

街道の湯での駅みつまたなど立ち寄り

はじめ、露天風呂を併設した日帰り温泉

や紅葉が美しいトレッキングコースを


が楽しめるみつまた。新緑

一年中アスレチックコースあり

のサマーゲザンデがあり、

までの春スキーや夏から秋

月の秋すべりから5月



駐車場からすぐトレッキングコース入り口へ。30分ほど歩くと大峰の原水(湧き水)がありその先に清津川を眺める絶景ポイントがある。猿飛岩・フィトンチッド広場など見どころも多い。
※現地の標識等の指示に従ってください。



切り立った柱状の
岩肌、エメラルド
グリーンの清流

みつまた
歴史・自然・おさんぽ
MAP



三国道は、古くから越後と関東を結ぶ重要な道であった。名称は峠の三国権現に由来。三国とは、越後・上野・信濃の国を意味する。上杉謙信が関東へ出兵（越山と言った）した折、通った古道である。

江戸時代初期、佐渡の金銀山経営を目的に、上州高崎から越後寺泊まで幕府によって整備され、各地に宿場が設けられた。上州永井宿から越後湯沢宿までの険しい山を越えるため、浅貝・二居・三俣の三宿が設けられ、長岡藩・村松藩の参勤交代や佐渡奉行の赴任など、多くの人の往来や、米・織物、数多の産物の運搬の拠点に大いに賑わった。

戊辰戦争の戦乱にも焼失をまぬがれ、脇本陣池田家は当時の姿を今に伝えている。

湯沢町観光協会「上杉謙信関東出兵(越山)のみち」より

